

平成 23 年度 日本語支援ボランティアコーディネーター研修会(文化庁委託事業) 報告

- 実施日:平成 24 年 1 月 14 日(土)、15 日(日)
- 場所:京都府国際センター
- 参加者:地域日本語教室において活動する日本語支援ボランティア 32 名
- 参加費:無料
- 主催:財団法人京都府国際センター / 共催:京都にほんご Rings

1 日目 組織論、団体運営について

講師:田口美紀さん(特定非営利活動法人きょうと NPO センター事務局次長)

第 1 部 講義

- NPO・ボランティア団体の組織づくり
- 組織とは何か
- 「個人」「仲間や集団」「組織・団体」「法人」の違い
- 組織化の進め方
- 目標・目的による団体運営について
- NPO・ボランティア団体の運営サイクル
- 運営のための資源(人とお金)の集め方 等

第 2 部 個人ワークおよびグループワーク

- あなたの「組織」について改めて考えるワーク
- 「理念」「社会的な役割」「目標(長期的/中期的/短期的)」について
- 上記テーマについて、まずは個別で考えてその後グループで報告しあう
- ケース検討「NPO・ボランティア団体においてよくある運営の落とし穴とは」

2 日目 リーダーシップについて

講師:野池雅人さん(特定非営利活動法人きょうと NPO センター事務局長)

第 1 部 個人ワークおよびグループワーク

- (1) あなたの団体におけるリーダーの役割は?
- (2) リーダーとして日頃できていないことや課題として感じていること
- (3) どのようにその課題や悩みを解決できそうか
- (4) あなた自身が考える理想のリーダー像とは?
 - 課題(2)および解決策(3)を共有
 - 理想のリーダー像(4)についての話し合い
 - 各グループ発表

第 2 部 講義

- NPO・ボランティア団体におけるリーダーとは
- リーダーの9つの基本的な役割
- ミーティングのマネジメント(コミュニケーション)

アンケート感想

- 他の同類団体も同じような問題を抱えているのを知ることができて良かった。
- 多くの人たちと活発な意見交換する時間が十分にあった。
- ぼんやりとやらねばいけないと思っていた事をはっきりと言葉で明確化することができた。リーダーとして任務を明確にすることができた。
- マネジメントは手段であり、目的ではないということに気付きました。マネジメントは日本語ボランティア研修では新しい切り口でした。

平成 23 年度 日本語支援ボランティア研修会 北部（文化庁委託事業） 報告

- 実施日：
 - 1)平成 23 年 6 月 26 日(日)10:30～15:30
 - 2)平成 23 年 7 月 23 日(土)12:30～17:00
 - 3)平成 23 年 8 月 27 日(土)10:30～15:30
- 場所：
 - 1)福知山市市民会館(福知山市字内記 100 番地)
 - 2)峰山総合福祉センター(京丹後市峰山町杉谷 691)
 - 3)綾部市林業センター(綾部市宮代町前田 20-5)
- 対象:日本語ボランティアとして活動している方、市町村および市町村協会、教育委員会、教員ほか
- 参加費: 無料
- 参加者数: 1)31 名 2)31 名 3)44 名
- 主催: 財団法人京都府国際センター
- 共催: 福知山市、福知山市教育委員会、福知山日本語交流会、京丹後市国際交流協会、綾部市、綾部市教育委員会、綾部国際交流協会

1)「日本語初級テキストを使った活動」

講師: 森篤嗣氏(帝塚山大学准教授)

第 1 部:「日本語ボランティアの役割とは?～『にほんごこれだけ! 1』の理念とその背景～」

第 2 部:「おしゃべり型活動を体験してみよう～学習者の視点を考えて『にほんごこれだけ! 1』で実践する～」

2)「日本語がほとんどわからない学習者との活動 ～『にほんごこれだけ』を使いながら、コミュニケーション力を磨く～」

講師: 松田真希子氏(金沢大学准教授)

3)-1 午前の部 「帰国・外国人児童生徒の受け入れに関わる、現状と課題」

講師: 大菅佐妃子氏(京都市総合教育センター)

3)-2 午後の部 「外国語として日本語を見てみよう～「富士山はきれかった」は、どうしてだめ?～」

講師: 澤田幸子氏(財団法人海外技術者研修協会)

アンケート感想

- ・日本語支援ボランティアの役割とは何かということがよく分かりました。
- ・日本語支援ボランティアと日本語教師の違い等初めて学ぶことが多かった。
- ・おしゃべり型は、楽しい反面難しい面もあります。それがよく分かってよかったです。
- ・他の地域で活動されている方、これからされる方とお話できて楽しかったです。一方的な講座でははく、知らなかった同志の方たちとの活動が良かったと思います。
- ・「みんなの日本語」と「にほんごこれだけ」の違いが認識できた。

平成 23 年度 日本語支援ボランティア研修会 木津川市 (文化庁委託事業) 報告

- 実施日: 1)平成 23 年 5 月 15 日(日)、2)6 月 18 日(土)、3)7 月 9 日(土))
- 場所: 1)木津川市市役所北別館(木津川市木津南垣外 110-9)
2)、3)加茂文化センター(木津川市加茂町里南古田 156)
- 対象: 日本語ボランティアとして活動している方
- 参加者数 1)30 名 2)25 名 3)29 名
- 参加費: 無料
- 主催: 財団法人京都府国際センター
- 共催: 木津川国際交流協会
- 内容:

『みんなの日本語・初級編』をもとに絵カードも交えながら、日本語の教授法の実践練習。グループに分かれてのワークショップも実施。それぞれ演習・実習の後、参加者による模擬授業を実施。

5/15 「テキストの構成・使い方と授業の作り方」

澤山里美(にほんご空間・京都、日本理工情報専門学校教師)

6/18 「文型練習の種類、国文法と日本語文法」

村井喜久美(にほんご空間・京都、大阪 YWCA 日本語講師)

7/9 「会話練習」

樋口リサ(にほんご空間・京都、関西語言学院日本語教師)

アンケート感想

・今回の研修に参加できてとても勉強になりました。今まで何も分からないまま学習者と接していたので、テキストの研究や目的などにも取り組んでみようという気持ちができました。又こういう機会があれば、ぜひ参加したいと思いません。有り難うございました。

・今までは教科書の順番通りに教えれば良いと思っていましたが、教え方の順番があることを知り、参考になりました。あまり余計なことを言い過ぎると、相手を混乱させてしまうことがわかりました。

・具体的に見せてもらったところ、例えば身体を動かして物を使ってなどは、とても参考になりました。やさしい言葉でゆっくりと話す、くり返すことなど、基本を忘れないことが大切と確認しました。ます形、辞書形など新しい知識になりました。